

令和4年度 林業普及週間現地情報(6/12～6/18)

森林管理課

小学生の職場体験学習

6月17日 (金)

令和4年6月17日、沖縄県北部農林水産振興センター森林整備保全課に。屋部小学校6年生の児童1名が職場体験(ジョブシャドウイング)に訪れた。

ジョブシャドウイングは、小学生が事業所を訪れ、そこで働く大人に「影」のようについてまわり、働く様子を観察し学ぶことで、将来の夢や考えるきっかけとなるよう名護市教育委員会が行っている取り組みである。

森林整備保全課では、動画を使い、森林の役割や沖縄の林業について知ってもらった後、各職員の業務の内容や働いているところを見て回ってもらった。

また、ドローンを用いた森林調査に新たに取り組んでいることも学んでもらった。

見学に来た児童は、三線を学んでおり、三線がクロキという木で作られていることも知っていた。そこで、近年、三線の材料に使えるクロキが少なくなっていることから、読谷村等でクロキの植林活動が行われおり、伝統芸能と林業の深いつながりも知ってもらった。

今後ともジョブシャドウイングに協力し、林業との関わりや林業の重要性を知ってもらい、近い将来、この取り組みの中から若い林業者が生まれてくるのを期待したい。



ドローンで撮影された画像から
得られる森林情報を興味深く聞く児童

(報告者：北部農林水産振興センター 仲里、森田、仲宗根)